

かとうまちかどトピックス



ピザ作りや昔遊びに夢中 東条こども春まつり



4月23日、東条福祉センターとどろき荘などで「東条こども春まつり」が開催されました。

参加した子どもたちは、地域ボランティアの方などからピザの作り方を聞き、玉ねぎやチーズなどを生地に乗せて自分だけのピザづくりを体験しました。

また、紙飛行機や竹とんぼ、コマ回しなどといった昔ながらの遊びを教わりながら元気いっぱい楽しみました。すぐにコツをつかむ子も多く、「先生よりうまくできるようになったで！」と嬉しそうに話してくれました。

伝統受け継ぐ「秋津百石踊」4年ぶり奉納



秋津住吉神社で4年ぶりに兵庫県指定重要民族文化財「秋津百石踊」が奉納されました。

秋津百石踊は、例年4月29日に奉納される雨乞いの神事です。室町時代末期頃に成立したとされる風流系踊りで、かつては氏子圏の各地域で奉納されていましたが、現在は西戸地区でのみ継承されています。

今年は西戸百石踊保存会の役員等のみで執り行われましたが、踊り子らは約1時間にわたって舞いを披露。保存会の方は、「伝統ある踊りをこれからも守っていくために頑張っていきたいです。」と話されました。

食品ロス削減と困窮者支援めざし三者協定



4月28日、マックスバリュ西日本株式会社、加東市社会福祉協議会、加東市がフードバンク活動連携協定を締結しました。

フードバンク活動とは、賞味期限が近づいたりパッケージの印字ミスなどの理由で販売が難しくなった食品を企業から寄付いただき、生活に困っている方々に無償で提供する活動です。

今後三者は協力して食品廃棄の減量と、食品提供による生活困窮者等の支援をめざします。

釣り人待望 関竜灘で鮎漁解禁



5月1日、関竜灘で鮎漁が解禁され、釣り人が集って初釣りを楽しんでいました。

解禁にあわせ、今年は体長10cmほどの元気な稚鮎が約2万匹放流されました。前日の雨の影響か、川はやや濁って流れが激しかったものの、釣り人たちは岩場から竿を繰り出し、巧みに鮎を釣り上げていました。

※釣りには、加古川漁業共同組合が発行する「遊漁証」が必要です。詳しくは同組合にお問い合わせください。

問 加古川漁業協同組合 ☎22-2572 ※土曜日・日曜日休業

市のイベント等は
SNSでも発信中！



LINE



Instagram



Facebook

市長らが地域課題の現場を視察



市内各地区・自治会の課題等について、市長や市職員が実際に現場を訪れ、地域のみなさんと意見交換を行う「まちづくりウォーク」をスタートしました。

事業の初日となった5月2日は、上三草、下三草、木梨の3地域を視察。山林整備や農地問題、河川設備の老朽化など、地区が抱えるさまざまな課題について、現地を訪れて区長や自治会役員の方々と直接議論を交わしました。

今後も当事業は2年間にわたって実施し、市内全ての地区・自治会を訪問する予定です。

朝光寺「木造千手観音立像」重要文化財記念開帳



5月5日、朝光寺本堂に祀られている木造千手観音立像が特別に開帳され、多くの参拝者が訪れました。

このたびの公開は、朝光寺本堂に安置されている2躯の本尊のうちの西本尊(写真左)が令和元年に国指定重要文化財へ指定されたことを記念するものです。

木造千手観音立像は調査の結果、鎌倉時代に再興された妙法院(京都市)の仏像群のうちの1躯であることが明らかとなっており、都でつくられた像が他地域にもたらされた貴重な例として注目されています。

社高校生 市特産品「もち麦」の収穫を体験



5月18日、社高校生活科学科地方創生班の生徒たちが、もち麦の収穫を体験。地方創生班による収穫体験は、地元で収穫されたもち麦を使って「地域を盛り上げたい」という取り組みの1つとして行われており、今回で3回目となります。

体験した上田向日葵さんは「一度で刈らないといけないので、力が必要でした。もち麦を刈るところを経験できたので、もっと“もち麦”を愛します」とコメント。

生徒たちが刈ったもち麦のわらは、今後開催予定のワークショップなどで活用されます。

柔道全国大会で兵庫県代表がベスト16の大健闘



社柔道少年団所属の田中ひかりさん(当時小学6年生)が、令和4年11月20日に開催された第31回日整全国少年柔道大会に兵庫県代表の副将として出場され、代表団はベスト16入りという成績を納められました。

市は全国大会での健闘を称え、田中さんに賞賛金を授与しました。